

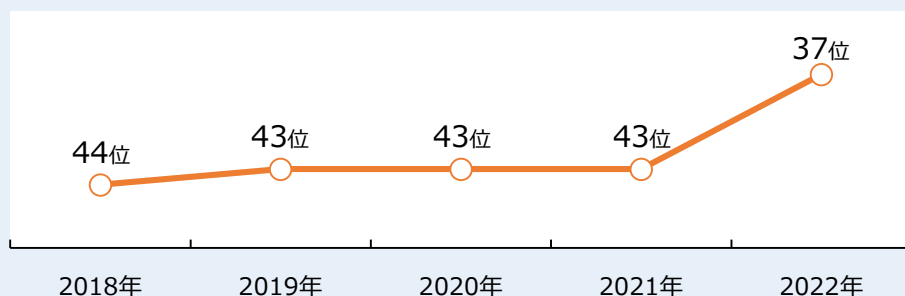
世界競争ランキング2022 インドの総合順位は6つ上昇

パワフル・インド インドの競争力は躍進、デジタル面では飛躍の余地大

▶ 世界競争ランキング2022でインドは総合37位に上昇

スイスのビジネススクールである国際経営開発研究所（IMD）が発表した「世界競争ランキング2022」でインドは総合順位を6つ上げ、アジア各国・地域の中で最も急成長を遂げています。評価項目別では、「国内経済」が9位、「労働市場」が6位などと上位となる一方、「健康・環境」が62位、「教育」が59位で対象国中、最下位に近く、今後の課題です。

世界競争ランキング インドの順位推移

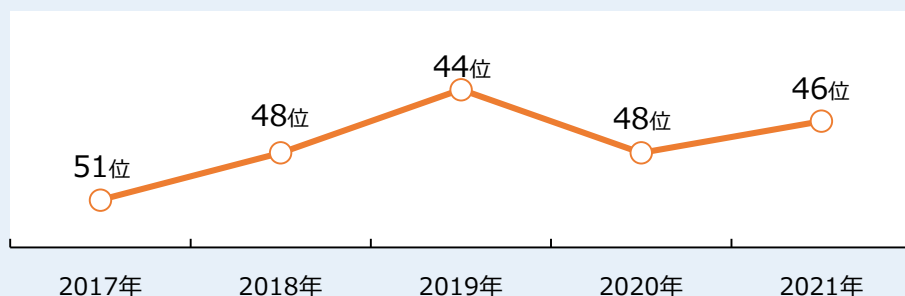


※2022年版の対象国・地域は63カ国・地域

▶ 世界デジタル競争ランキング2021で総合46位

IMDは同様に、52項目からなる世界の主要各国の「デジタル競争ランキング」も発表しています。本ランキングでは、インドは総合順位は46位であり、インドのデジタル化が諸外国に比べて遅れていることが分かります。

世界デジタル競争ランキング インドの順位推移



※2021年版の対象国・地域は64カ国・地域

ただし、個別の項目で見ると面白いことがわかります。例えば「情報通信への投資」は1位、「学術論文数によるR&Dの生産性」は2位、一方で「タブレット所持」は60位、「インターネットユーザー」は64位となりました。インドは人口面でいまだにデジタル機器に触れられない層が多いことなどを踏まえると、まだまだ改善の余地があると考えます。世界的なデジタル化の流れも背景に、インド政府は「デジタル・インド」を提唱するなど、デジタル化にも力を入れており、今後のさらなる発展が見込めることが予想されます。



ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会